

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	セメント・混和材料研究小委員会		主 査 名：名和豊春 就任年月：2003 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (RC 工事運営委員会)		委員長名：田中享二 主 査 名：梶田佳寛
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	新材料の技術の現状をまとめ、使用にあたって考慮すべき事項を抽出する。 ・新規材料に関する情報の収集・整理 (2003 年度, 2004 年度) ・建築用コンクリート材料の技術の現状の作成 (2005 年度) ・材料の性能規定設計法および新材料の品質基準(案)の作成 (2006 年度)		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 無		
	名和豊春 (主査, 北大), 古賀康男 (幹事, 宇部三菱セメ研), 井ノ川尚 (住友大阪セメ), 閑田徹志 (鹿島), 木之下光男 (竹本油脂), 黒岩秀介 (大成), 佐々木博隆 (花王), 菅 匠 (NMB), 杉山 央 (建研), 棚野博之 (建研), 谷村 充 (太平洋セメ), 檀 康弘 (新日鐵高炉), 西田 朗 (清水), 野口貴文 (東大), 保利彰宏 (電化)		
設置 WG (WG 名: 目的)	なし		
2006 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	(名称) コンクリート材料の基準化に関するシンポジウム 参加者数 99 名 (資料名) セメント・コンクリート用混和材料およびそれらの基準化に関する技術の現状と論文集
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	2006 年度は新たに、性能規定設計法の調査や新材料の品質基準について議論を深め、これまで調査してきたコンクリート新材料に関する技術の現状とともに、小委員会報告書としてまとめた。また、成果はシンポジウムで報告し、広く関係者の参考に供するとともに、新たな材料・評価方法について議論の場を設けた。所期の目標は十分に達成したので、予定通り本年度をもって小委員会を終了する。
委員会活動の問題点・課題	特になし

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。